

青少年リーダーを養成 青春みらい塾に2人が参加

美国中学校3年

生駒 沙耶香さん(野塚町)

北海道教育委員会主催による平成19年度青少年体験活動推進事業「青春みらい塾」が、8月7日から9日の2泊3日の日程で深川市の道立青年の家などで行われました。

これは、中学生・高校生を対象に、北海道の産業や自然環境、福祉などについて学び、地域における青年活動リーダーを養成することを目的に実施されているもので、石狩、空知、後志管内から109人が参加しました。

積丹町から参加した2人の体験記について紹介します。



みらい塾では、バス研修、出会のつどい、講演、ワークシヨップ(体験活動)など、いろいろな研修がありました。

特にワークシヨップでは、「食育」「福祉」「環境」「産業」の4コースのグループに分かれるという体験しました。

私は環境コースを選び、沼田町にある「雪の科学館」で自然エネルギーについての勉強と雪冷房装置の製作体験を通して、環境について学んできました。

研修会の初めの頃は、みんな緊張していて静かだったけれど、

ど、ある事がきっかけで緊張感がとれ、仲良く実験に取り組みだり、おしゃべりが出来るようになりしました。

研修会を通してたくさんの方達を作ることができ、充実した3日間となりました。

そしてこれからも友達を大切にしていこうと思います。

小樽工業高等学校2年

能代谷 寿紀くん(美国町)



普段の高校生活と違い、いろいろな地域から学年の違う人達が集まり各グループに分かれて、各々のテーマに合わせてフィールドワークという活動体験をしました。

時間がたつにつれて、グループの皆も親しくなり、意見も多く出るようになり、自分達の目標に向け話し合いにも積極的に

参加するようになりグループとしての結束も強いものとなりました。

十人十色という言葉の通り、それぞれの考え方、取り組み方がありましたが、一人ひとりが助け合つことが出来たと思います。

タイプの違う皆と過ごしながら、僕も普段と違うキャラになり、積極的に皆を盛り上げたり、進んで何かをしようとする事

が出来ていたと思います。

最後の各グループのプレゼンテーション(提案)の時も、完成度は低くても、その時のベストが出せたと思います。

今回のみらい塾では、すごく自分が変われたと思います。

来年は、みらい塾に参加出来る最後の歳なので、出来れば再び参加し、自分だけでなく皆も変えてみたいと思います。

今年もたくさんのご支援、ご協力 ありがとうございました

日本赤十字事業につきましては、日頃から深いご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社積丹町分区では、今年も全国的な運動の実施にあわせ日赤奉仕団、各地区婦人会、自治会などのご協力をいただき、活動資金の募集を実施しました。

今年度も積丹町分区では、日本赤十字社北海道支部後志地区によって定められる目標額を上回る活動資金が寄せられました。皆さまからの活動資金は、災害救護をはじめ、国際救援や安全講習の普及などに役立てられます。

なお、今年度の実績額については次のとおりです。

平成19年度実績額 **1,003件 591,600円**

【日本赤十字社北海道支部後志地区積丹町分区長 益子 清美】